

## 第 3 回策定委員会の意見の概要 (H31. 2. 6 開催)

## 資料 1 計画策定のイメージについて

- ・市の現状や特徴を、文化・芸術を取り巻く背景に記載してほしい。
  - ・平成 31 年度当初に示された市長の市政方針「シビックプライド（市への誇り、愛着）」を、考え方として取り込んでほしい。
  - ・関係法令に市の文化財保護条例などが入っていない。
  - ・島田市役所周辺整備構想で、**おおりの活用について一定の方向性が示されているが、文化芸術推進計画が上位計画となる。**文化施設としておおりの活用と関わりがあるので、本計画で柱をたてるなどして反映させるべきではないか？ また、計画策定のワークショップで新しい市役所に、土日も市民が集えるようなスペースが欲しいという意見もあった。
- 検討の視点の「誰もが参加・活動できる環境づくり」におおりの活用が含まれると考えるが、新たに別枠で柱をたてるべきかどうか？
- ・本計画では、おおりはあくまで文化施設として、ホール機能に特化した内容を示せば良いと思う。

## 資料 2 計画策定の検討の視点について

- ・「インテリ層」という表現は個人によって認識が異なる可能性があるので、注意してほしい。
- ・プロデューサー、コーディネーターの育成はもちろんだが、育てるのに時間がかかるので外部人材の誘致、活用も入れるべきではないか。
- ・人材については、I ターンだけでなく、U, J ターンも入れて欲しい。
- ・交流の中で、異文化交流の視点も入れて欲しい。
- ・島田への愛着や誇りの形成の中に、文化・芸術の継承なども含まれるので、加えてほしい。
- ・社会教育、生涯学習との連携の視点も入れてほしい。
- ・誰もが参加・活動できる環境づくりで、子どもと高齢者の間の層、働き盛りの 40~50 代向けの対策が抜けている。
- ・全体的に検討の視点の中味を精査して、厚くしてほしい。